

九大三景

六本松 箱崎 伊都



▷8◁

お昼どき、箱崎キャンパス(福岡市東区)の留学生課の建物の隣に長い行列ができる。列の先には青いブレハブ小屋が1軒。エ

ドナケバブ」や、そぎ切りにしたラム肉と野菜をご飯に盛った井など日替わりの献立が人気。本場の味は留学生にとどまらず、

したのは4年前のこと。日ごろの外出に困っていたムスリム留学生たちの要望を受けた大学がナビールさんに白羽の矢を立てた。異国の地で暮らす者同

手を休めて訪れる場所がある。学内の留学生用集会室。金曜日、メッカの方角を向いて集団礼拝が営まれるのだ。

九大の留学生約1500人のうちイスラム圏出身は200人近く

信仰と交友の拠点

ソフト人のアマール・ナビールさん(48)が切り盛りする屋台「ナビさん」だ。

日本人学生、さらには学外客の舌をも魅了する。「卒業後も食べに来てくれる人がいる。こんなうれしいことはないね」

当初は北九州市から乗り付けたワゴン車で販売を続けたが、昨年夏に自宅を箱崎へ移した。秋にはブレハブ店舗が完成し、営業時間

も従来の2時間から6時間半に延ばした。引きも切らない客足の中、ナビールさんが毎週欠かさず仕事の

ム教徒(ムスリム)向けに豚肉やアルコールを使わない「ハラール料理」を出す。鶏肉とトマトを薄皮のピタパンで包んだ「チキン

98年に来日し、北九州市で九州初のハラール料理店を開いたナビールさんが、ここに出店

士の交友を深める意義もある。JR箱崎駅西側には今春、九州初のモスクが誕生する。箱崎地区は福岡在住のムスリムたちの拠点という一面を併せ持つ。

一方で、キャンパス移転で留学生たちも同市西区伊都へ移る。ナ

ビールさんも4月、伊都にできる新しい生協食堂にハラール料理コーナーをオープンさせた。

だが、ナビールさん(ここが自分の場所)。「This is my place」心の声でもある。

【阿部周一】



店頭に立つナビールさん(左)。「箱崎は私にとって居心地のいいエリア」